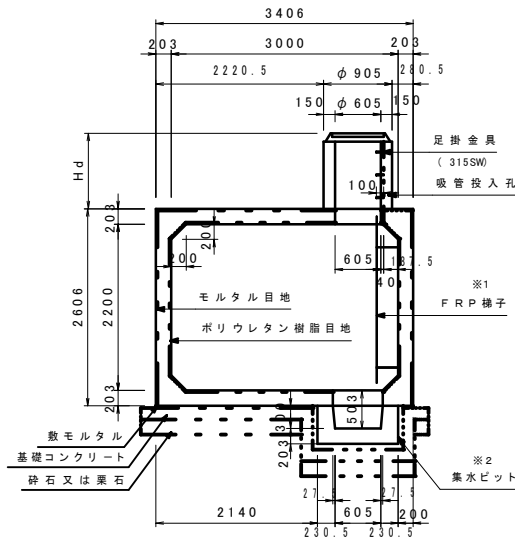


注1 吸管投入孔・ピットの位置及び数量は変更可能。但し、最大スケッチとする。  
 ※1 FRP梯子は、オフセット取り付けとし、最大スケッチで取り付けることができる。  
 ※2 集水ピットには、h=100又はh=300のどちらかのブロックを使用する。

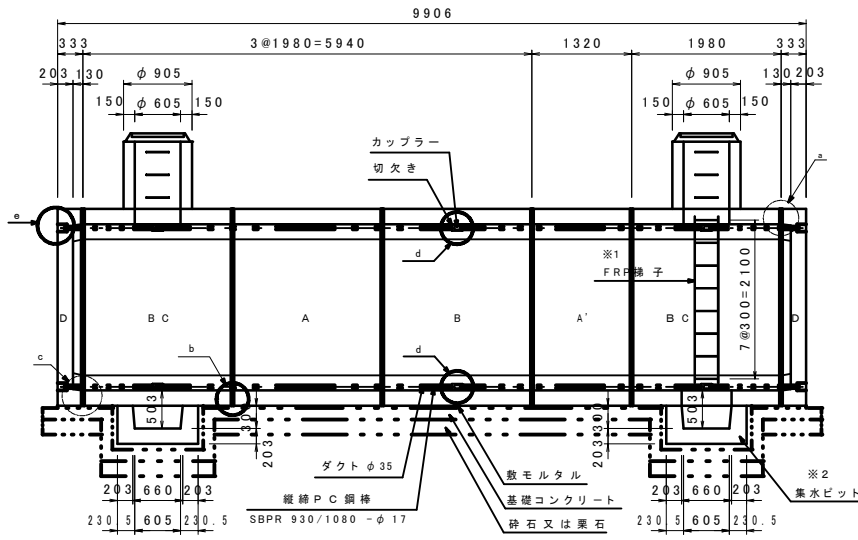
## 二次製品等耐震性貯水槽 60m<sup>3</sup> 型 構造図 S=1/50

(参考図)

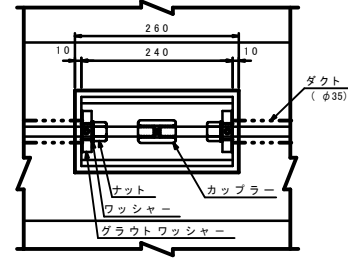
A-A 断面図



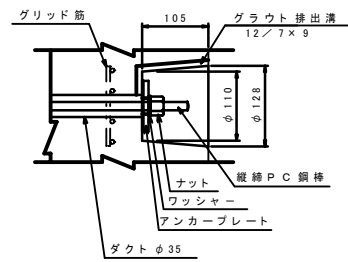
B-B 断面図



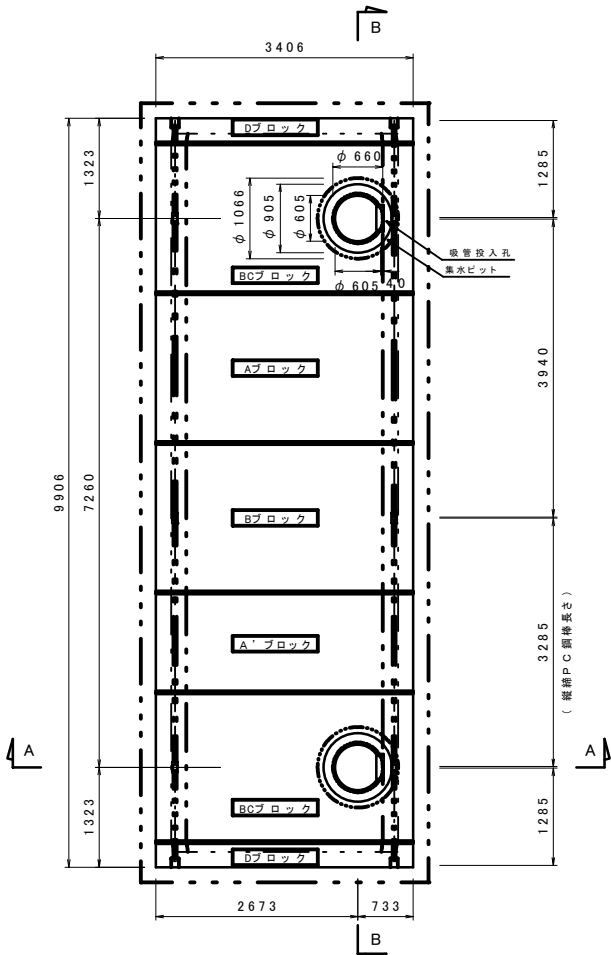
d 部詳細図 S=1/6



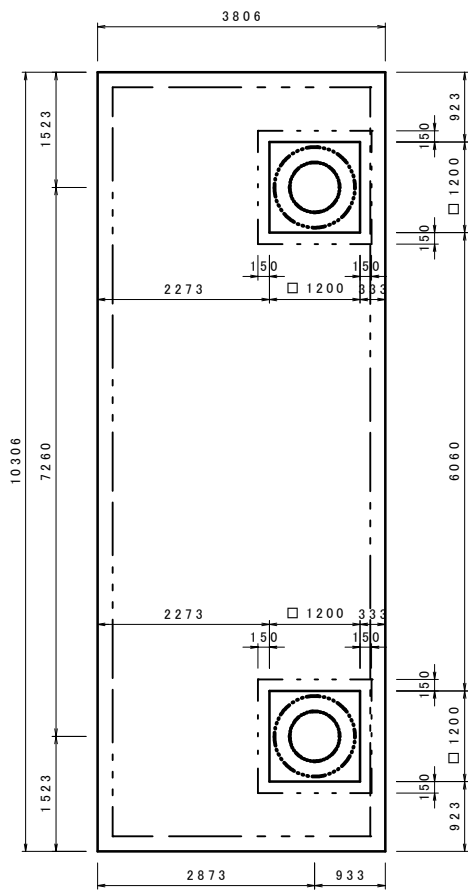
e 部詳細図 S=1/6



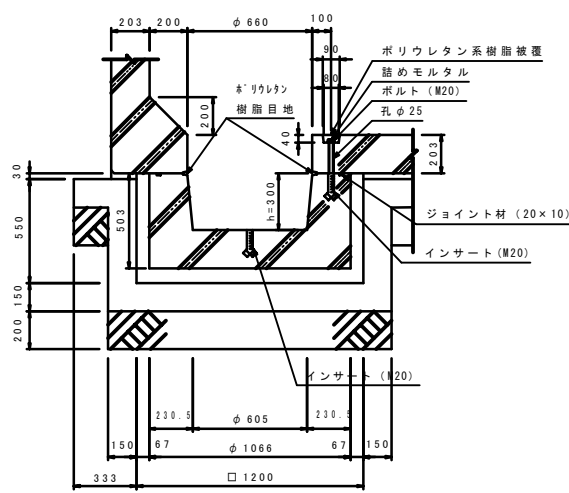
平面図



基礎平面図



集水ピットブロック S=1/20



基礎コンクリートについて

水槽の基礎については、基礎地盤の調査を行って地盤の強固な場合は均しコンクリート（無筋コンクリート）を基本とし、地盤が比較的柔らかい（中位のもの）場合、砂質土壌でN値が5以上10未満、又は粘土質土壌でN値が5以上8未満であれば、基礎コンクリートを鉄筋コンクリートとする。又、基礎地盤のN値が5未満の場合又は、全ネジボルトM16は検討を要する。  
 基礎コンクリートを鉄筋コンクリートとする場合は、別途図面による。

(参考) 基礎地盤のN値と基礎コンクリートの関係について

基礎地盤	N 値	基礎コンクリート
均しコンクリート（無筋コンクリート）	10以上	
鉄筋コンクリート	5以上10未満	
	5未満	検討が必要
均しコンクリート（無筋コンクリート）	8以上	
鉄筋コンクリート	5以上8未満	
	5未満	検討が必要

\* 鉄筋は、SD295またはSD345を使用する。

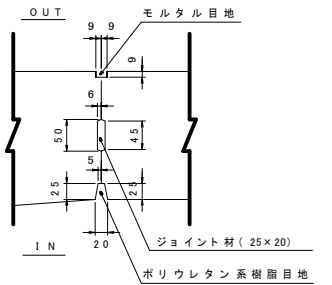
## 二次製品耐震性貯水槽（60m<sup>3</sup>）明細書

型式記号	ASH322C-II型N-0.1/1.0		
認定番号	耐-96017-1号		
容量	60m <sup>3</sup>		
設置場所	II型（道路用）		
荷重	T-20		
土被り	Hd=0.1~1.0m		
主材料	細目	数量	備考
Aブロック	3000×2200×1980	1個	標準型
A'ブロック	3000×2200×1320	1個	短尺型
Bブロック	3000×2200×1980	1個	切欠付
BCブロック	3000×2200×1980	2個	切欠付人孔型
Dブロック	3000×2200×333	2個	背面版
吸管投入ブロック	φ605、H=***	*個	
集水ピットブロック	φ660、H=503	2個	
FRP梯子		*個	
縦締PC鋼棒	SBPR-930/1080-φ17、L=3940	4本	
縦締PC鋼棒	SBPR-930/1080-φ17、L=3285	4本	
縦締PC鋼棒	SBPR-930/1080-φ17、L=1285	8本	
カップラー	φ17用	12個	縦締用
定着具（中間部）	φ17用 ナット、ワッシャー、アンカープレート	24組	縦締用
定着具（端部）	φ17用 ナット、ワッシャー、アンカープレート	8組	縦締用
取付用金具	M20ナット、ワッシャー	10組	集水ピット用
受枠及び蓋	φ600	2組	
取付用金具	鉄筋φ16（ネジ切）又は、全ネジボルト（M16）、ナット、ワッシャー	6組	人孔受枠用

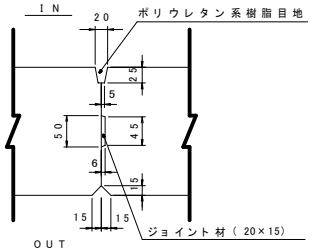
縦締PC鋼棒 φ17 導入力 150kN

令和4年度 耐震性防火水槽設置工事2			
番号	2/2	構造図（参考図）	縮尺 図示
松島大道			
箕輪町			
町長	課長	照査	設計
箕輪町役場			
設計会社		管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	

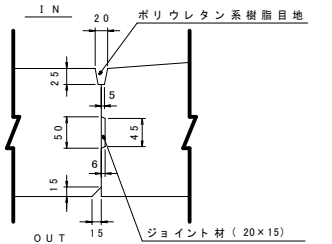
a 部詳細図 S=1/6



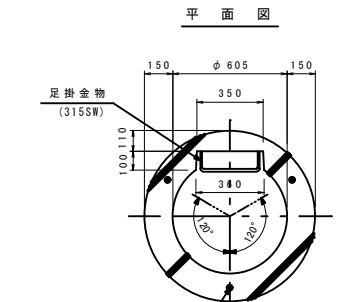
b 部詳細図 S=1/6



c 部詳細図 S=1/6



吸管投入孔 S=1/20



断面図

